

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2022 年 2 月 5 日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」星が丘校

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		法定以上の支援スペースを確保できている。	
	② 職員の配置数は適切である	○		法定の人員配置基準を満たしている。	
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		事業所内は平坦になっており、訓練室やトイレなど視覚でわかりやすいようになっている。	建物の 2 階にあり、階段のためバリアフリー化はできていない。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		教室内の清掃、備品や教材の消毒を毎日行っている。	
業務改善	⑤ 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		定期的にミーティング・会議を開催し、業務の改善に努めている。	
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者向け評価表でいただいた意見をもとに、改善につなげている。	
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		毎年事業所評価を行い、ホームページで公表している。	
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		第三者評価としてはできていないが、事業所評価を業務改善につなげている。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		事業所内での研修の他、定例研修として、web 上で月に 1 回程度研修を行っている。	
適切な支援の	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		保護者とのコミュニケーションをよく取り、児童の様子と併せて個別支援計画を作成している。	
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		法人独自のツールを使い、行動観察からアセスメントを行っている。	

提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		「発達支援」・「家族支援」に重点をおいて支援を設定している。	個別支援の特性上、地域支援はなかなかできていない。地域資源となれるよう連携していきたい。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		個別支援計画を確認したうえで支援プログラムを作成している。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		職員間で情報を共有し、個別支援計画に沿ったプログラムを作成している。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		担当職員を固定せず事業所全体で児童に関わるようにしている。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		個別活動が主ではあるが、必要に応じ小集団での活動も提案している。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		決まった時間のミーティングではないが、職員間で随時情報を共有している。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		決まった時間のミーティングではないが、職員間で随時情報を共有している。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		毎回記録を作成・保管している。支援の記録を参考にして課題設定を行っている。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		少なくとも6ヵ月に1回のモニタリングを実施している。	
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児発管または管理者が参画するようにしている。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		○		必要に応じ、連携ができる体制を整えている。
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				該当なし
	㉔	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）				該当なし

		子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		保護者の要望や必要に応じて連携できる体制は整っている。	情報共有としての連携の側面が大きく、「移行支援」としての実施はできていない。
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		保護者の要望や必要に応じて連携できる体制は整っている。	情報共有としての連携の側面が大きく、「移行支援」としての実施はできていない。
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		毎月専門機関の研修を実施している。	
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		交流はできていない。今後、外部参加のイベント等も必要に応じて検討していきたい。
	㉘	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		活動がある際には、コロナの状況を見て参加していきたい。
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		毎回の支援時に保護者とお話する時間を取り、情報を共有している。	
	㉚	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	○		支援時のフィードバックや事業所内相談支援を活用し、対応している。	
保護者への説明責任等	㉛	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時や更新時に説明を行い、事業所内に書類を掲示している。	
	㉜	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		保護者に個別支援計画の内容を確認していただき、サインと押印をいただいている。	
	㉝	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		支援時のフィードバックや事業所内相談支援を活用し、対応している。	
	㉞	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		コロナの状況を見て開催を進めていきたい。Zoom 等を活用してオンライン上での保護者会等も検討する。
	㉟	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		利用者・保護者からの要望があった際には迅速な対応ができるよう体制を整えている。	

	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			会報ではないが、校舎の LINE を活用して情報を発信している。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	○			パソコンや個人情報の記載されたものは鍵付きロッカーに保管し、施錠している。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			職員全体で、丁寧な聞き取りやコミュニケーションを意識して行うことができている。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○	○		見学等は随時受け付けているが、コロナの影響もあり地域交流はできていない。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			各種マニュアルは法人で策定し、事業所内で研修に活用している。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			防災訓練や研修を実施している。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○			契約時と年度替わりで確認している。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		食事の提供はない。事前の聞き取りは行っている。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			職員全員が閲覧・編集できるデータを作成し、共有している。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			虐待防止委員会を設置し、定期的に研修を行っている。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			該当者はいないが、必要に応じ個別支援計画に記載することとしている。重要事項説明書にて、保護者への説明も行っている。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2022 年 2 月 5 日

事業所名：こどもサポート教室「きらい」星が丘校

保護者等数（児童数）：23 回収数：22 割合：95.7 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	20	2	0	0	・子供が活動できるスペースになっている。 ・動きやすい十分な空間で落ち着ける。 ・座っての活動には十分だが、動く活動には少し狭いと感じる。	今後も活動しやすい環境を整備してまいります。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	21	0	0	1	・職員が多いので安心。 ・親も勉強になる。 ・専門性はよくわからない。補助器具について質問しても答えにならない回答をされた。	職員の専門性を高め、安心してご利用いただけるよう努めてまいります。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	19	3	0	0	・配慮がしっかりされている。 ・段差もなく、危ない場所もないので良い。 ・子供が気になるようなものが貼っていないので、他に集中が行きにくいと思う。 ・階段で 2 階に行くのでバリアフリー化は難しそう。	安全に注意し、安心して活動できる環境を整えてまいります。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	21	1	0	0	・いつも清潔にされている。 ・消毒などをこまめにしていてとても安心。	支援終了後に、設備や物品を消毒するお時間をいただいております。 今後ご不安の無いよう努めます。
適切な 支援の 提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	20	0	0	2	・子供のことをしっかり考えた計画になっている。 ・こちらからお願いしたこともしっかり入っていて安心。 ・問題なことを相談すると、次の支援で取り組んでくれるので助かる。	今後も利用者様・保護者様のニーズに応えていけるよう努めます。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの	16	3	0	3	・具体的な支援内容になっている。	発達の一助になれるよう努めます。

		支援に必要な項目が適切に選択され、 その上で、具体的な支援内容が設定されているか						
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	21	1	0	0	・計画に沿った支援をしてくれる。	
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	20	1	0	1	・色々なプログラムを取り入れている。 ・いつも様々な体験をさせてもらって、「こんなことにも興味があったのか」と気付かせてもらっている。	楽しく活動に参加していただけるよう努めてまいります。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	7	3	6	5	・保育園では交流があった。 ・このような時代なので、今は交流がない方が安心。 ・多分ない。	現状、交流の機会は設定できておりませんが、ご要望に応じて検討してまいります。
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	22	0	0	0	・しっかり説明された。 ・とても丁寧に説明してもらった。	今後も丁寧な説明を心がけます。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	20	2	0	0	・しっかり説明された。	今後も丁寧な説明を心がけます。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	9	6	1	6	・子供の発達によって変えていかなければならないことも多いので、たくさん対応を教えてほしい。 ・ペアレントトレーニングはあまりなかった。 ・声のかけ方等勉強になる。 ・普段の活動から、次の課題を見つけてることができている。 ・おそろくない。	今後も保護者様のご安心につながるよう、情報の共有やご家庭への支援等に努めてまいります。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	20	1	1	0	・困ったときにすぐ相談できるので、大きな家族の支えになっている。 ・いつも子供の話を真剣に聞いてくれる。 ・時間を気にして、本腰を入れて聞く感じではないので伝えなくなった。普段の様子を聞かれて答えても、アドバイスをあまりない。ヒアリング結果が支援に活かされているのかわからない。反映しているなら伝えてほしい。自信がないのか、専門性への疑問につながる。	お話を伺った内容は、職員間で共有して支援に反映させていただいております。ご不安を与えてしまい申し訳ありません。

	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	20	0	0	2	・「最近どうですか？」と声をかけてもらえてうれしい。 ・いつも子供の話を真剣に聞いてくれる。 ・とても勉強になるし、気軽に相談できるので不安が少なくなり助けてもらっている。	
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	6	8	6	・コロナが落ち着いたらぜひ開催してほしい。 ・保護者同士の交流は少ない。 ・このような状況では開催は難しいと思う。 ・今は交流等は怖いので避けたい。 ・利用を開始したばかりなので、まだ経験していない。	
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	19	1	0	2	・相談はよく聞いてくれてアドバイスをくれる。 ・お願いしたことにすぐに対応してくれている。	
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	20	0	0	2	・配慮されている。	
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	12	4	1	5	・ホームページはあまり見ていない。 - LINE を便利に使っている。 ・発信されている。	
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	21	0	0	1	・注意されている。	
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	16	2	1	3	・防犯マニュアルの説明はしっかりされた。 ・マニュアルがあるのは知っているが、訓練をしているかはわからない。 ・緊急時対応の説明もあり、ヘルメットも常備されているので安心。	
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6	6	3	7	・やっているかは不明。	定期的に防災訓練を実施しています。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	20	1	0	1	・とても楽しみにしている。 ・すごく楽しみにしている。 ・先生が毎回変わるので、日により反応が違うという印象はある。これから通所回数が増えることで、楽しみになってくれるといいと思う。	担当を固定せず、どの先生とも楽しく関わることができるとを目標としています。 お気付きの点がありましたら、いつでもご相談下さい。

						・「次はいつ行くの？」と毎日言っている。先生たちのことも大好きで、きりに決めて良かった。 ・毎日通いたいと言うほど楽しみにしている。	
㊸	事業所の支援に満足しているか	20	1	0	1	・親としても、心の休まるひと時です。 ・大満足。 ・まだ数回しか利用していないのでなんとも言えない。 ・とても満足している。 ・職員によって合う合わないがありそう。	

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。